

第5回新規鉱区の入札結果と動向

1. 第5回鉱区入札結果

2014年10月23日、モザンビーク国家石油院（INP）は、第5回新規ガス鉱区の入札を公示した。本入札では、オフショアの11鉱区（ロブマ堆積盆地、アンゴチェ堆積盆地、ザンベジ堆積盆地、モザンビーク堆積盆地）とオンショアの4鉱区（モザンビーク堆積盆地）の合計15鉱区が入札にかけられた。本入札には、11鉱区に23プロポーザルが提出された¹。油田の可能性が高いアンゴチェ堆積盆地の鉱区には、2プロポーザル（AREA A5-A: ENI と Exxon Mobil）と3プロポーザル（AREA A5-B: ENI, Exxon Mobile、Total）が応札した。入札評価の結果、2015年10月、INPは6鉱区のオペレーターを選定し、探査・生産コンセッション契約に向けた交渉が開始されている。入札結果は以下の表の通りである。アメリカのスーパーメジャーである Exxon Mobil が3鉱区を取得し、モザンビークの石油・ガス開発に参入したことが特筆される。モザンビーク企業の Proinveste 社は、Non-Operator としてアンゴチェ堆積盆地の2鉱区に15%権益のプロポーザルを提出したが、INPにより技術的経験不足のため失格となっている²。新規鉱区の探査では、合計約7億ドルの投資が予定されており、少なくとも10本の試掘が実施される予定である。

表1：第5回新規鉱区入札結果

No.	鉱区名	堆積盆地	オペレーター	本社	権益保有者	総投資額／ 予定試錐本数
1	AREA A5-A	Angoche	ENI Mozambique	イタリア	ENI 34% SASOL 25.5% Statoil 25.5% ENH 25%	115 百万ドル／ 3 本
2	AREA A5-B	Angoche	Exxon Mobil	アメリカ	Exxon Mobile 60% Rosneft 20% ENH 20%	257 百万ドル／ 2 本
3	AREA Z5-C	Zambezi Delta	Exxon Mobil	アメリカ	Exxon Mobile 60% Rosneft 20% ENH 20%	128 百万ドル／ 1 本
4	AREA Z5-D	Zambezi Delta	Exxon Mobil	アメリカ	Exxon Mobil 60% Rosneft 20% ENH 20%	142 百万ドル／ 2 本
5	AREA PT5-C	Mozambique (Pande/Temane)	Sasol	南アフリカ	Sasol 70% ENH 30%	49 百万ドル 2 本
6	AEA P5-A	Mozambique (Palmeira)	Delonex Energy	イギリス	Delonex Energy 70% Indian Oil 20% ENH 10%	20 百万ドル -

出典：INP 等

¹モザンビーク企業が Non-Operator として応札しており、入札された鉱区以外の鉱区にもプロポーザルが提出されたが、この Non-Operator と入札鉱区外を除くと、7鉱区に12プロポーザルが参加した。

² Proinveste については、NGO の CIP が以下のサイトにおいて問題を指摘していた。

http://www.cip.org.mz/cipdoc%5C395_5%20th%20Round%20-%20Final%20comment.pdf

探査・生産コンセッションの期間は、4年間である。現在まで新規契約のために必要な法律（Petroleum Law, 2014）と規制（Petroleum Regulation, July 2015）は成立されているが、生産物分与の契約モデルは最終化されておらず、現在レビュー中である。Total社とSonangol社は、AREA A5-Bを落札できなかったが、交渉次第では、Exxon Mobilが取得したAREA A5-Bの20%権益に参加することができるとのアナウンスがあった。ENHは、石油法（2014）と入札図書に基づいて、少なくとも10%の権益を取得することになっており、全ての鉱区において権益を得ている。次回の新規鉱区の入札は、第5回新規鉱区の契約交渉が完了してから着手されるため、2017年もしくは2018年頃になるとのことである（INP情報）。



出典：INP

図1：第5回入札で鉱区を取得したオペレーターと新規鉱区の位置図

2. 日本企業の参加の機会

モ国政府と新規鉱区の契約交渉が続けられており、権益移譲の可能性があり、日本企業の参加の機会もある。油田の可能性が高いアンゴチェ堆積盆地では、今回の入札鉱区以外においても可能性が高いと言われており、入札鉱区近辺の地域の「探査 (Reconnaissance)」ライセンスにプロポーザルを提出した企業もいるとのことである。次回の新規鉱区入札において、これら近郊地域の鉱区が入札対象となる可能性もある。さらに、今後 7 億ドルの探査が予定されており、機材調達などにおいて参加の機会があると思われる。